※令和４年度以降入学生用

学校番号	3038

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	現代の歴史総合　みる・読みとく・考える　（山川出版社）						
副教材等	明解　歴史総合図説　シンフォニア（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在私たちが生きている日本や世界は、どのように形成されたのだろうか。現代社会にあるさまざまな問題の根源は、人類の歴史的な歩みから知ることができる。現在の日本の社会や文化は、日本の長い歴史の中で形成されてきたものであるが、特に大きな変化をとげたのは、過去数百年の間、とりわけ明治維新以降のことであった。この明治維新から第二次世界大戦終結までの時代のことを、日本では「近代」と呼び、歴史総合はこの近代からスタートする。鎖国政策が撤廃されてから、日本は様々な国や地域とのつながりを深めた。その結果、日本は国際社会の一員としての役割を担うこととなり、社会・経済・文化は海外の影響を色濃く受けることとなった。したがって、私たちが現代社会を知ろうとするとき、近代以降の日本と海外の動向を切り離して考えることは、ほとんどできないだろう。

歴史総合では、人類がどのように今の世界を形作ってきたかという点について、近代および現代という歴史の「新しい」部分に焦点を当て、世界とその中の日本の歩みと関連付けながら学習する。したがって、歴史総合を学ぶ際は、個々の歴史的事象にのみ着目する（暗記する）のではなく、その事象の背景や原因、影響や別の出来事とのつながりに着目し、整理するとよい。

２　学習の到達目標

a:近現代の歴史の変化に関わる諸事象についての幅広い知識を獲得する。
b:学習者が得た知識を活用し、諸資料から論理的な文章で歴史事象を説明することができる。
c:多面的・多角的な考察から文章やプレゼンテーションを通じてわかりやすく他者に説明しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識:近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能:諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	思考･判断:近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的･多角的に考察できる。 表現:歴史上の課題を把握し、解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明することができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする。 また、多文化共生社会や持続可能な社会に生きる日本人として学びに向かう態度が表出している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化と私たち	1 交通と貿易 2 産業と人口 3 権利意識と政治参加、国民の義務 4 学校教育 5 労働と家族 6 移民	a: 地図や統計、絵画、文書など様々な資料から、情報を読みとったりまとめたりする技能を身につけている。 b: 近代化にともなう生活や社会の変容について考察し、自分自身の問いを表現している。 c: 近代化にともなう生活や社会の変化について、自身が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
		1 18 世紀の東アジアにおける社会と経済 2 貿易が結んだ世界と日本	a:18 世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 b:「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 c:18 世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
		3 産業革命	a:産業革命から資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 b:産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。 c:市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク

※令和４年度以降入学生用

1・2学期		1　市民革命 2　国民国家とナショナリズム	a:アメリカやフランスで発生した市民革命の特性とこれらが歴史に与えた影響を理解している。 b:市民革命の経緯などから、近代の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。 c:アメリカやフランスで発生した市民革命の光と影を対比し、多角的に分析しようとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
		※中国の開港と日本の開国 3　明治維新 4　日本の産業革命 5　帝国主義 ※「中国の開港と日本の開国」は時系列を整理するためは「国民国家とナショナリズム」のあとに学習する。教科書の順序とは異なる。	a:東アジア世界の近代化とその経緯を理解している。 b:東アジア世界の近代化と西欧諸国の思惑、また日本の諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。 c:西欧諸国が実施した帝国主義政策が現代に与えた課題について、その背景と解決策を探究的に学習しようとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
		6　変容する東アジアの国際秩序 7　日露戦争と東アジアの変動	a:日本を中心とした東アジア世界の変化と国際貿易の関係性を理解している。 b:日露戦争の背景などから、20世紀初頭の東アジア世界の変化を考察し、自分の言葉で表現している。 c:日露戦争が日本に与えた歴史的特性を踏まえて、国際社会の日本について探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク

※令和４年度以降入学生用

	国際秩序の変化や大衆化と私たち	1 20世紀の国際関係の緊密化 2 アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭 3 植民地の独立 4 大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 5 生活様式の変化	a:ビスマルク体制から大戦後の大衆文化の発生までの歴史を、背景を踏まえて理解している。 b:第一次世界大戦後の世界の変容から、新たな国際社会の成り立ちを考察し、その特徴を文章で表現している。 c:大衆文化がもたらした世界に生きる人々の変容と現代社会を比較し、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
2学期		1 第一次世界大戦の展開 2 ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 3 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 4 世界経済の変容と日本 5 アジアのナショナリズム 6 大衆の政治参加 7 消費社会と大衆文化	a:第一次世界大戦の発生が世界史に大きな変化を与えたことを背景や国際情勢の変化を踏まえて理解している。 b:第一次世界大戦によって台頭する新たな政治主体の特徴を考察し、それまでの世界と比較し、文章で説明することができる。 c:アメリカ合衆国の繁栄によって本格的に到来する大量消費社会の抱える課題と現代社会を比較して、その課題を探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
	経済危機と第二次世界大戦	1 世界恐慌の時代 2 ファシズムの伸長と共産主義 3 日中戦争への道 4 第二次世界大戦の展開 5 第二次世界大戦下の社会	a:世界恐慌が世界にもたらした影響が、第二次世界大戦の要因となったことを、背景を踏まえて、理解している。 b:日本を含めた世界が再び世界規模の大戦に向かった原因を考察し、多角的な視点から文章で表現している。 c:経済の行き詰まりが政変や国家間の抗争に発展する構造を踏まえて現代社会の諸課題と結びつけ、主体的に探究しようとする。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク

※令和４年度以降入学生用

		6　国際連合と国際経済体制 8　冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 9　日本の独立と日米安全保障条約	a:第二次世界大戦後の国際秩序形成の過程を通じて、現代世界の構造を理解する。 b:日本を含めた世界が東西冷戦によって分断された背景を考察し、多角的な視点から文章で表現している。 c:戦後日本の歴史を理解し、現代日本に生きる自分たちが抱える社会の諸課題を探究的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
3学期	グローバル化と私たち	1　冷戦と国際関係 2　人と資本の移動 3　高度情報通信 4　食料と人口 5　資源･エネルギーと地球環境 6　感染症 7　多様な人々の共存	a:グローバリゼーションという世界的変動が引き起こした人類の抱える課題を、背景を踏まえて理解している。 b:グローバリゼーションによって引き起こされた社会問題の歴史的な特性を考察し、様々な視点から思考している。 c:グローバリゼーションが引き起こした現代の諸問題が、今後どのような変遷をたどるか人類史と関連させて、探究しようとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
	冷戦と世界経済	1　冷戦下の地域紛争と脱植民地化 2　東西両陣営の動向と 1960 年代の社会 3　軍拡競争から緊張緩和へ 4　地域連携の形成と展開 5　計画経済とその波及 6　日本の高度経済成長 7　アジアのなかの戦後日本	a:東西冷戦の引き起こした世界的な分断を国ごと、地域ごとに比較し、その背景を踏まえて理解している。 b:核軍縮を含めて東西冷戦後の世界で発生した様々な出来事を、日本を含めた世界経済の視点から考察し、自分の言葉で表現している。 c:日本の高度経済成長と当時の世界情勢の関係を踏まえた上で、探究的に学習しようとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク

※令和４年度以降入学生用

	世界秩序の変容と日本	1 石油危機 2 アジア諸地域の経済発展 3 市場開放と経済の自由化 4 情報技術革命とグローバリゼーション 5 冷戦の終結とソ連の崩壊	a:石油危機に始まる東西世界の中心の崩壊を、その背景を踏まえて理解している。 b:東西冷戦の終焉が世界に与えた歴史的事実を多角的に分析し、根拠を踏まえて、文章で説明している。 c:アジアの諸国の経済成長と世界情勢の関係の変化を踏まえ、探究的に学習しようとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク
		6 現代の東アジア 7 東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化 8 地域統合の拡大と変容 9 地域紛争と国際社会 10 現代と私たち	a:私たちの生きる東アジアとその周辺地域の現代史の変遷を理解している。 b:現代の抱える国際問題の背景やその課題などから、その特徴を考察し、自分の言葉で表現している。 c:現代世界が抱える課題の複雑性を踏まえた上でその解決策を追究しようとしている。	定期考査 小テスト	レポート 課題	レポート 課題 グループワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度